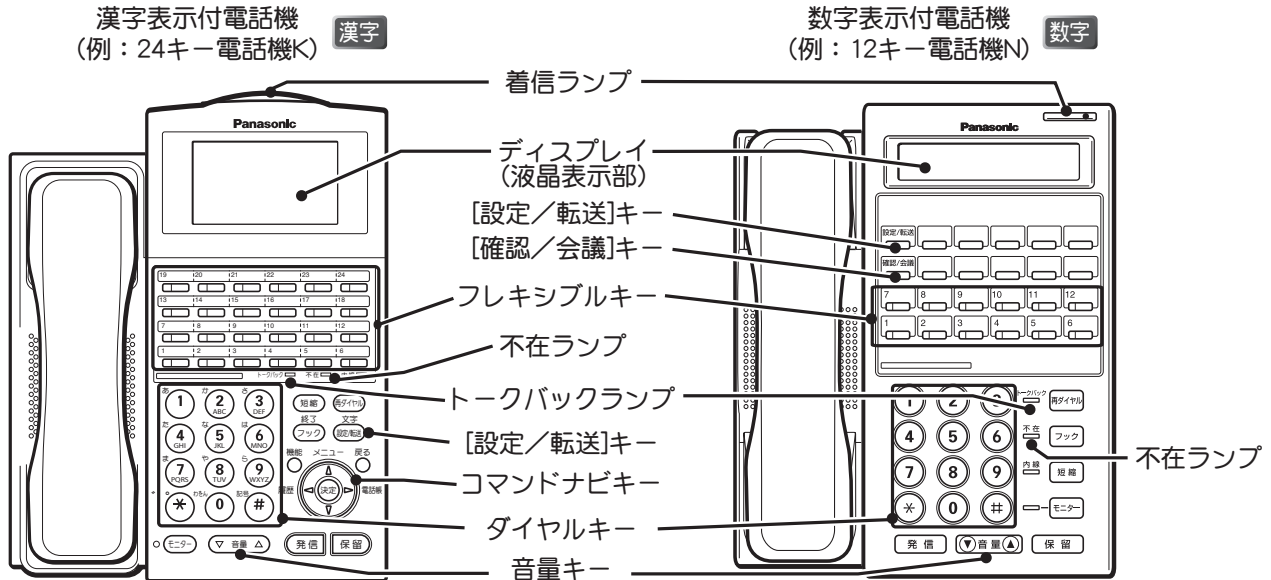


# IP OFFICE MX / IP OFFICE EX

## 操作早見表

●詳しくは、IP OFFICE MX/EX 操作説明書をご覧ください。

IP OFFICE MX/IP OFFICE EX  
漢字表示付電話機 / 数字表示付電話機



※各操作は漢字表示付電話機のボタンの図で説明します。

音量の調節		漢字	数字
	<input type="button" value="▽ 音量 △"/> <input type="button" value="▽ : 音が小さくなる"/> <input type="button" value="△ : 音が大きくなる"/>		
通話音量を調節する	通話中に <input type="button" value="▽ 音量 △"/> で音量を調節できます。		
モニタ音量を調節する	モニター中にスピーカーからの音量を <input type="button" value="▽ 音量 △"/> で調節できます。 待受中に調節するには <input type="button" value="モニター"/> → <input type="button" value="▽ 音量 △"/> → <input type="button" value="モニター"/>		
着信音量を調節する	着信中に <input type="button" value="▽ 音量 △"/> で音量を調節できます。設定により外線からの着信音量と内線からの着信音量を個別に調節することもできます。 待受中に調節するには 機能 <input type="button" value="○"/> → ① → ① → <input type="button" value="▽ 音量 △"/> → <input type="button" value="決定"/> (漢字表示付電話機) 確認/会議 <input type="button" value="□"/> → ① → ① → <input type="button" value="▽ 音量 △"/> (数字表示付電話機)		

ランプについて		漢字	数字
トークバックランプ	マイクがオン（トークバックがオン）のとき、赤色に点灯します。この設定により、内線音声呼出に対して受話器を取らずに応答できます。 マイク オン：機能 <input type="button" value="○"/> → ② → ⑤ → ① マイク オフ：機能 <input type="button" value="○"/> → ② → ⑤ → ② ●数字表示付電話機では、機能 <input type="button" value="○"/> の代わりに <input type="button" value="確認/会議"/> を押します。		
不在ランプ	不在設定が有効のとき、赤色に点灯します。 不在転送を有効にする：不在ランプが消灯している状態で <input type="button" value="不在設定"/> を押す 不在転送を無効にする：不在ランプが点灯している状態で <input type="button" value="不在設定"/> を押す 不在設定が有効なときに内線から電話がかかってきた場合、相手の電話（漢字表示付電話機）のディスプレイに不在理由が表示されます。 ● <input type="button" value="不在設定"/> はフレキシブルキーです。あらかじめ登録しておく必要があります。		

外線		漢字	数字
電話をかける	受話器を取ってかける	→ <b>発信</b> 、 <b>①</b> 、またはランプが点灯していない <b>外線</b> → 電話番号 → <通話> →	<ul style="list-style-type: none"> <li>オートダイヤルキー、ワンタッチキー、短縮キーなどを押して電話をかけることもできます。</li> </ul>
	電話番号を確認してからかける(プリセットダイヤル)	電話番号 → <b>発信</b> 、またはランプが点灯していない <b>外線</b> → 相手の応答する音が聞こえたら  → <通話> →	<ul style="list-style-type: none"> <li>電話番号を間違えたときは <b>保留</b> を押してください。</li> </ul>
	最後にかけた相手にかけ直す(リダイヤル)	→ <b>再ダイヤル</b> → <通話> →	<ul style="list-style-type: none"> <li><b>外線</b> を押してから <b>再ダイヤル</b> を押すと、回線を指定して電話することができます。</li> </ul>
電話を受ける	呼出音 →  → 点滅している <b>外線</b> → <通話> →	<ul style="list-style-type: none"> <li><b>外線</b> はフレキシブルキーです。</li> </ul>	
保留	外線を保留する(回線保留)	<通話中>  → <b>保留</b> →  → 通話に戻るとき  → 点滅している <b>外線</b> → <通話>	<ul style="list-style-type: none"> <li><b>外線</b> はフレキシブルキーです。</li> </ul>
	他の電話機で取れないように保留する(自己保留)	<通話中>  → <b>自己保留</b> →  → 通話に戻るとき <b>自己保留</b> →  → <通話>	<ul style="list-style-type: none"> <li><b>自己保留</b> はフレキシブルキーです。あらかじめ登録しておく必要があります。</li> </ul>
	システムの中で取れるように保留する(システムパーク保留)	<通話中>  → <b>システムパーク</b> →  → 通話に戻るとき 保留に使用した <b>システムパーク</b> →  → <通話>	<ul style="list-style-type: none"> <li><b>システムパーク</b> はフレキシブルキーです。</li> </ul>
	グループの中だけで取れるように保留する(グループパーク保留)	<通話中>  → <b>グループパーク</b> →  → 通話に戻るとき 保留に使用した <b>グループパーク</b> →  → <通話>	<ul style="list-style-type: none"> <li><b>グループパーク</b> はフレキシブルキーです。</li> </ul>
転送	口頭で取り次ぐ	転送する人:  → <b>保留</b> → 口頭で呼びかけて用件を伝える →	転送を受ける人:  → 点滅している <b>外線</b> → <通話>
	内線呼び出して転送する	転送する人:  → <b>設定/転送</b> または <b>保留</b> → 転送したい人の内線番号 → <内線通話> →	<ul style="list-style-type: none"> <li><b>保留</b> を使用する場合は設定が必要です。</li> <li><b>設定/転送</b> を押す操作を繰り返すことにより、2つの相手と交互に通話できます。</li> <li><b>保留</b> による通話の切り替えはできません。</li> </ul>
	一斉・特定のグループを音声で呼び出して転送する	転送する人:  → <b>設定/転送</b> または <b>保留</b> → グループ呼出し特番(初期値: <b>※</b> <b>①</b> ) → 音声呼びグループ番号(初期値: <b>①</b> <b>①</b> )、すべての内線電話の一斉呼出し → 音声で呼び出す → 相手が応答したら、<内線通話> →	音声呼びグループ番号: <b>①</b> <b>①</b> :すべての内線電話の一斉呼出し <b>①</b> <b>①</b> :第1グループ ~ <b>⑨</b> <b>⑨</b> :第99グループ
		転送を受ける人: → グループ呼出し応答特番(初期値: <b>Ⓜ</b> <b>①</b> ) → 音声呼びグループ番号(初期値: <b>①</b> <b>①</b> ) → <内線通話> → 転送する人がオンフックすると <通話>	

内線		漢字	数字	
電話をかける	内線を呼び出す	→ 内線番号 → <通話> → <ul style="list-style-type: none"> <li>受話器を上げると自動的に外線に発信する設定（オフフック外線自動捕捉）を行っている場合、オフフックの前に <b>モーター</b> を押します。</li> <li>[内線 DSS] キー（フレキシブルキー）に内線番号を割り付けて使うこともできます。</li> </ul>		
	音声で呼び出す (内線音声呼出し)	→ 内線番号 → <b>※</b> → 呼びかける → <通話> → <ul style="list-style-type: none"> <li><b>※</b> を複数回押すことにより、音声での内線呼び出しと着信音での内線呼び出しを交互に切り替えることができます。</li> </ul>		
	内線番号を確認してからかける (プリセットダイヤル)	内線番号 → <b>モーター</b> → 相手の応答する声聞こえたら  → <通話> → <ul style="list-style-type: none"> <li>電話番号を間違えたときは <b>保留</b> を押してください。</li> </ul>		取付け時設定
	最後にかけた相手にかけ直す (リダイヤル)	→ <b>再ダイヤル</b> → <通話> →		取付け時設定
電話を受ける	呼出音または音声(着信ランプ点滅) →  → <通話> →			
保 留	他の電話機で取れないように保留する (自己保留)	<通話中> →  → <b>自己保留</b> →  → 通話に戻るとき  → <b>自己保留</b> →  → <通話> <ul style="list-style-type: none"> <li><b>自己保留</b> はフレキシブルキーです。あらかじめ登録しておく必要があります。</li> </ul>		
	システムの中で取れるように保留する (システムパーク保留)	<通話中> →  → <b>システムパーク</b> →  → 通話に戻るとき  → <b>システムパーク</b> →  → <通話> <ul style="list-style-type: none"> <li><b>システムパーク</b> はフレキシブルキーです。  取付け時設定</li> </ul>		
	グループの中だけで取れるように保留する (グループパーク保留)	<通話中> →  → <b>グループパーク</b> →  → 通話に戻るとき  → <b>グループパーク</b> →  → <通話> <ul style="list-style-type: none"> <li><b>グループパーク</b> はフレキシブルキーです。  取付け時設定</li> </ul>		
転 送	口頭で取り次ぐ	転送する人: <通話中> →  → <b>システムパーク</b> または <b>グループパーク</b> → 口頭で呼びかけて用件を伝える →		
	内線呼び出して転送する	<通話中> →  → <b>設定転送</b> または <b>保留</b> → 転送したい人の内線番号 → <ul style="list-style-type: none"> <li><b>保留</b> を使用する場合は設定が必要です。  取付け時設定</li> <li><b>設定転送</b> を押す操作を繰り返すことにより、2つの相手と交互に通話できます。</li> <li><b>保留</b> による通話の切り替えはできません。</li> </ul>		
一斉・特定のグループを音声で呼び出す	呼び出す	→ グループ音声呼出し特番(初期値: <b>※</b> 0) → 音声呼びグループ番号(初期値:0 0) → 音声で呼び出す → 相手が応答したら、<内線通話> → <p>音声呼びグループ番号: 0 0:すべての内線電話の一斉呼出し 0 1:第1グループ ~ 0 9:第99グループ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>グループ番号はあらかじめ登録しておきます。  取付け時設定</li> </ul>		
	受ける (呼び出しに答える)	→ グループ呼出し応答特番(初期値: <b>※</b> 0) → 音声呼びグループ番号(初期値:0 0) → <内線通話> → <p>音声呼びグループ番号: 0 0:すべての内線電話の一斉呼出し 0 1:第1グループ ~ 0 9:第99グループ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>グループ番号はあらかじめ登録しておきます。  取付け時設定</li> </ul>		

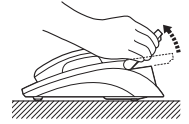
## 液晶表示部について

漢字

液晶表示部の角度、およびコントラストを調節することができます。数字表示付電話機では利用できません。

### 角度を調節する

液晶表示部の角度を任意の角度で調節できます。



### LCD 濃度を調節する

待受中に を押す → ② → ② → で調節する → を押す

## 検索して電話をかける

漢字

### システム短縮ダイヤル

<b>1</b> 待受状態で  を押す  	<b>2</b> で「3:短縮ダイヤル」を選び、 を押す  	<b>3</b> で「1:検索」を選び、 を押す  	<b>4</b> で「1:名前検索」を選び、 を押す  	<b>5</b> 検索する名前のフリガナを入力して  を押す  	<b>6</b> 検索結果から  で相手を選び  を押して、
-----------------------------	--------------------------------------	----------------------------------	------------------------------------	--	--------------------------------

- システム管理電話機（または管理者用パスワードを入力した一般電話機）の場合は、手順 **6** で名前を選んだ後 を押すと、短縮ダイヤルを編集することができます。
- 手順 **5** で検索したい文字を入力するとき、 を押すと入力モードを切り替えることができます。
- 短縮番号（メモリ番号）から検索する場合は、手順 **4** で「2:メモリ番号検索」を選択した後、登録されているメモリ番号（3ケタ）を入力してください。

### 電話帳

<b>1</b> 待受状態で  を押す  	<b>2</b> で「1:名前検索」を選び、 を押す  	<b>3</b> 検索する名前のフリガナを入力して  を押す  	<b>4</b> 検索結果から  で相手を選び  を押して、		
-----------------------------	------------------------------------	--	--------------------------------	--	--

- 手順 **3** で検索したい文字を入力するとき、 を押すと入力モードを切り替えることができます。
- 手順 **4** で名前を選んだ後 を押すと、表示されている電話帳を編集することができます。
- 電話帳をメモリ番号で検索する場合は、手順 **2** で「2:メモリ番号検索」を選択した後、登録されているメモリ番号（3ケタ）を入力してください。グループで検索する場合は、「3:グループ検索」を選択した後、表示されるグループ名（16個）から選択します。

## 便利メモ（おぼえのため、記入されると便利です）

お買い上げ日	年 月 日	品番	
取扱店名	電話（ ） -		
お近くの販売会社	電話（ ） -		

修理・お取り扱い・お手入れなどのご相談は、まずお買い上げの取扱店へお申し付けください。

## パナソニックCCソリューションズ株式会社